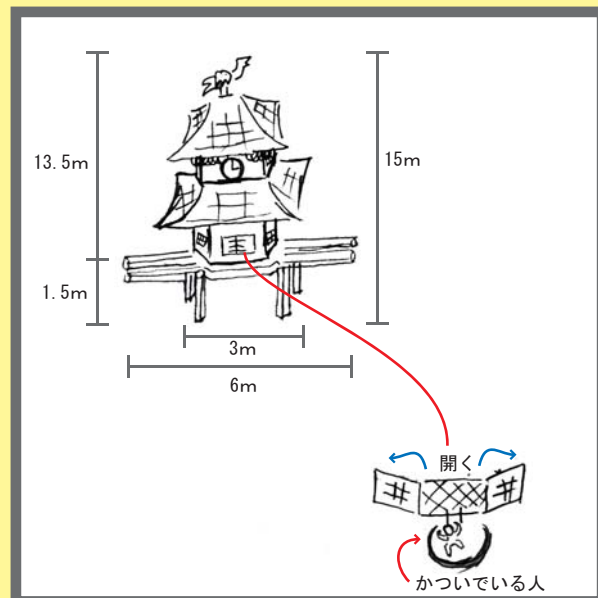


シンボルロボ アイデアコンテスト

ものづくりのまち新居浜



一般の部

佳作

『新居浜大太鼓』

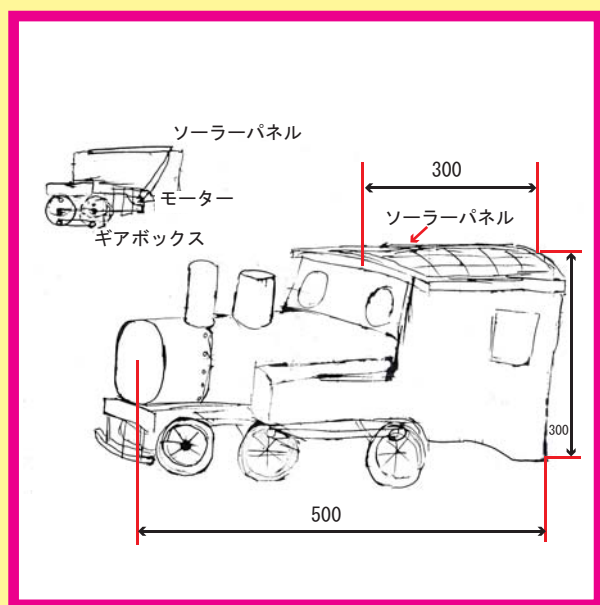
新居浜工業高等専門学校 機械工学科 2年 長尾 綾

きっかけ：シンボルのものを考えていたら思いつきました。

意図：新居浜人が好きな太鼓台がいつでも見えるように。

機能：時計

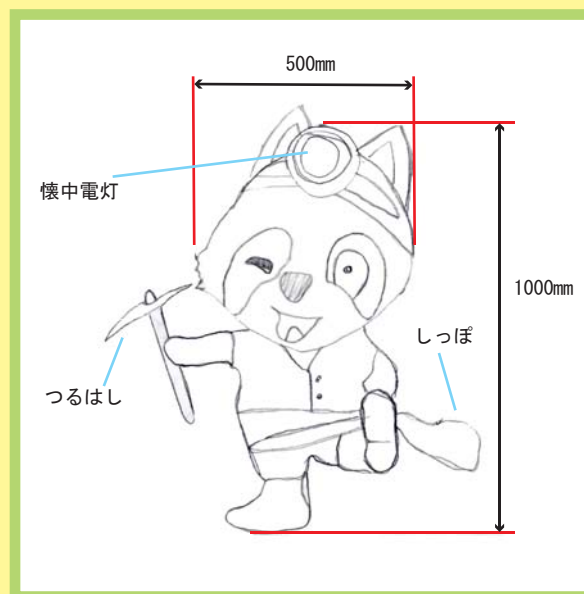
デザイン説明：華やかなイメージを演出。からくり時計で決まった時間になると、音が鳴る。お祭りをやっている人たちが中から出てくる。
金メッキ。



『アカガネ号』

新居浜工業高等専門学校 機械工学科 5年 内田 智

新居浜では、銅山があった時代は大気汚染が問題になっていました。現在でも、大気汚染は様々な地域で問題になっています。その主な原因は、車の排気ガスによるものです。そこで、銅山で重要な役割を担った蒸気機関車を、味噌のエネルギーであるソーラーを用いて、走らせるロボットを考えました。クリーンなエネルギーをもっと活用して欲しいという願いを込めました。



『マイントピアロボット』

新居浜工業高等専門学校 専攻科生産工学専攻 2年 青野 真也

発想のきっかけ：日本が世界に誇った三大銅山の1つ、別子銅山をより多くの人に知ってもらうため、新居浜市の文化遺産である別子銅山を取り入れたロボットになった。

アイデアの意図：新居浜市の別子銅山を表現するもの。

機能：別子銅山で採鉱している動きを取り入れたロボット